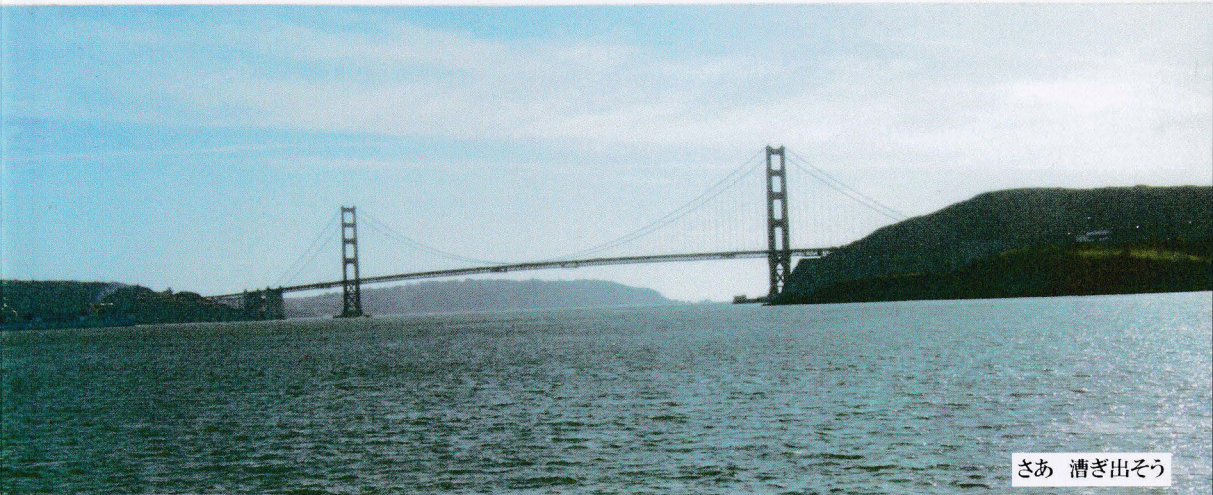


# 大海原をめざして歩み続けた47年 私の教員スタイル

山浦 寿



さあ 漕ぎ出そう

## 私の教職員来歴

高等学校 県教育委員会 短期大学・大学 幼保・小中教育

スクールカウンセラー 歴史研究 学会・社会活動 海外の旅

## あとがきに代えて

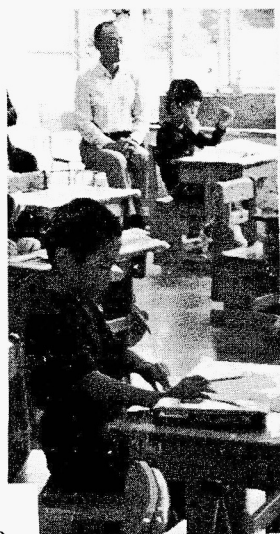
本書は、《第一部》と《第二部》の二部構成になっている。第一部は、自分の教員履歴の記憶を辿りながら47年間を振り返って記述したもので、いわば「自分史の通史編（総論編）」ともいべきもので、本書の「本文」部分に当たる。第二部は、教員としての勤務の傍ら携わってきた幾つかの仕事（役割）を、パートごとにまとめたいわば「分野編（各論編）」である。

「記憶」と「記録」は歴史（自伝）を叙述する際に欠くことの出来ない要素であるが、第一部の本文記述の不確実な部分を第二部で補足・補充するよう心掛けた。そのために、第二部では当時の記録や関係資料を持ち出して事実関係をより確かなものにし、記述に具体性や客観性を持たせようと試みた。

書名を『私の教員スタイル』としたが、多くの教員の皆さんと特に異なる「スタイル」などあるわけではない。ただ、1つには在職中に歴史研究や学会活動、社会活動や文化財保護運動などに積極的に関わってきたこと。2つ目に、高校現場における校長職経験、教育行政や大学、スクールカウンセラーなど幅広い教育分野へのキャリアがあること。3つ目は、多忙な教員生活の中であって、非日常の世界を経験することで自らを高めようと「海外一人旅」を繰り返してきたこと、くらいである。

本書は自分にとって一つの区切りの『記念誌』である。近い存在の方々に献呈する気持ちから、私的なことが多く含まれていることを了解願いたい。しかし、教職関係の皆さんにも一読してもらえる内容にした積りではある。本書購入を希望の方は奥付の著者住所にご連絡くだされば幸いである。

2020（令和2）年12月25日 著者



この子たちはどんな人生をつかっていこうか。

